



## Q3 公有財産の有効活用について

### 公有財産の活用

意見を拝聴し、スピード感を持って対処しています。引き続き自治会・各種団体からの案内は率先して出向き、町民の声をまちづくりに反映して参りたいと考えています。

また、「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴う八百津町総合戦略の策定や当町の基本計画であります第5次総合計画の策定についても議員ご承知のとおり、総合計画審議会・各部会により、広く町民のご意見を聞くための会議も始まりました。

さらに、やおつ創生「まち会」を立ち上げ、八百津町の将来像を考える「まちづくり」の議論も継続しています。このため、議員ご質問の「(仮称)町政出前座談会」開催の意向は今のところございません。しかし、今後の状況及び個別検討事項・要望等により、必要に応じて開催を検討して参りたいと思います。

答 (青山総務課長)

1 元福地小学校の有効活用について  
2 旧錦津公民館の有効活用について  
3 旧八百津公民館の有効活用について  
4 元潮南中学校の有効活用について

平成27年3月に策定しました「第5次八百津町行財政改革大綱」では、「財政改革等の推進」の中で「公有財産の有効活用」として、議員ご指摘の「①元福地小学校の有効活用」「②旧錦津公民館の有効活用」「③旧八百津公民館の有効活用」がそれぞれ推進事項として挙げられています。

これら3つの施設はいずれも、現在教育委員会の行政財産として教育委員会が管理しています。これらの施設の現状と今後取り組み方針は、元福地小学校については、現在、農産品の加工・販売、木工品の制作・販売、エゴマ油の搾油・販売など、地

第5次八百津町行財政改革の取り組みが行われているが、次の推進事項について、現状と今後の取り組み方針について伺う。

次に、旧錦津公民館につきましては、現在、学童保育施設としての利用とシルバー人材センターの事務所としての貸付を行っています。今後については、学童保育施設としての貸付を行以上、これ以外に貸し付けることは難しいと考え、地域での公民館活動の利用など可能なものがあれば、活用していきたいと思います。

旧八百津公民館については、現在、NPOやおつ及びCCCネットに貸し付け、その他に囲碁将棋クラブや資料室としての利用があります。しかし、耐震が課題になつており、行財政改革大綱では取り壊しを検討する方針を示しています。今後は、大綱どおり取り壊しをできるだけ早い時期に検討して進め、その後は八百津保育園の駐車場、あるいは公共駐車場としての利用を考えていきたいと思います。

4つめの元潮南中学校については、普通財産として現在2名の方に貸し付けをしています。

当分の間は現状のまま貸し付けを行いますが、いずれは潮南地区の方々とも協議を行い、地域教育課題に的確に対応する取り組みが求められています。

学校が抱える困難な課題を解決するためには、学校だけでなく、社会総がかりで対応することが求められています。そのため、より一層地域に信頼される学校づくりや、学校と地域がお互いの役割を認識しつつ、パートナーとして協働関係を築いていく必要があります。

『地域学校協働活動』は、地域と学校が連携・協働して、地域の高齢者、成人、保護者など、幅広い地域住民の方の参画により、地域全体で未来を担う子どもの成長を支え、地域を創生する活動です。コミュニティスクールは、学校と地域がパートナーとして、連携・協働するため地域でどのような子どもを育てるのか、何を実現していくのかを地域と共に共有し、地域と一体となって子どもを育むための仕組みです。



## Q1 地域と学校の連携・協働について

### 加藤良治 議員

#### 地域学校協働活動

問 新しい時代の教育や地方創生に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方法について、放課後・土曜学習・地域人材育成・家庭教育支援など「地域学校協働活動やコミュニケーションティースクール」の具体的な内容について伺う。

答 (堀部教育長)

現在、全国的に、地域における人間関係の希薄化、情報化の進展に伴う有害情報の氾濫など、社会状況や教育を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中で「規範意識」や

「社会性の涵養」「情報モラルの向上」など、学校は、様々な教育課題に的確に対応する取り組みが求められています。

学校が抱える困難な課題を解決するためには、学校だけでなく、社会総がかりで対応することが求められています。そのため、より一層地域に信頼される学校づくりや、学校と地域がお互いの役割を認識しつつ、パートナーとして協働関係を築いていく必要があります。